

5年後のあなたへ

第2方面隊 第16分団 班長 森 百合子

2021年の今、あなたは消防団活動に精力的にとりこんでいますね。応援しています。

私が消防団に入団して8年になります。男性ばかりの分団に女性5人で入団、男性と同じような活動をしてきましたし、男性団員の方々も同等に接してくださいました。しかし、女性団員は優遇されています。毎年、熊本市や熊本県の女性団員の研修や交流会がありますし、全国女性消防団員活性化大会も開催されます。全国大会は、全国各地から制服姿の女性団員が2000人ほども集まって、華やかな中にも実りある研修が行われます。それらに参加するたびに、せっかく女性が存在する分団なのだから、その特徴を生かした活動がききないかと考えつつ、また分団長から女性ならではの活動を試してみてもいいと言っただきながら、動き出すことなく、過ごしてしまいました。今年こそ、踏み出す！と決めました。やることは2つです。

まずひとつめ、5年後に女性の操法大会に出場します。

操法は、消防の基本とされています。消防団に入団して、基本ができないわけにはいきません。そして、するからには、大会出場を実現します。

数年前、熊本県女性操法大会を見学しました。その時、決して若くはない団員も一生懸命に走るすがたに感動し、いつかは出てみたいと思いましたが、出場している分団は、ほぼ女性だけで組織されている分団のようでした。しかし、最近、熊本市消防団では、いくつかの分団の女性が集まって操法を試してみてもいいのでは、という考えが示されました。さらに、昨年、私たちの方面隊には、13分団に1人、22分団に1人、37分団に5人の女性団員が入団、私たち16分団の5人、18分団の元気な先輩二人を加えると訓練に十分な人数になりました。昨年末には、顔合わせもし、リーダーは18分団の長野さんになりました。

2021年の操法大会出場を目指し、まずは、月に一度の規律訓練からはじめます。

二つめは、女性ならでは、ではありませんが、5年後には、校区の方々と、被災時の対応・救急救命について・防災や減災についてなどの研修を定期的な行事にします。

私たちの校区は、街なかのためか、一般の方々への、それらのPRは、頻繁に行われていますが、実際にそこにいる方々と学ぶ機会はほとんどありません。私は、日本赤十字社の救急法ボランティア指導員をしていますので、他の地区の研修によく参加します。そこでは、年に1回、あるいは半年に1回集まって、炊き出しや救急救命法、応急手当の仕方などを研修しています。私たちの街でも、いざという時に備えて、そこにいる方々、特に住んでいる方々と一緒に楽しく学び、みなさんに親しんでいただける消防団になっていきます。

まずは、分団内での研修の機会をお願いしていきます。さらに、各町内や商店街の集まりに参加します。そして、2021年には、分団の年間行事ともなる、わが街の定期的な研修が行えるようにします。

もちろん、この2つを実現させるためには、多くの方のご理解・ご協力をあおがなくてはなりません。この場をお借りして、よろしくお願い申し上げます。

5年後のあなたへ

今年の操法大会、いよいよ初参加ですね。練習、がんばっていますか？

消防団をとおして、校区の方々と一層親しくなれたようですね。
次の研修会はいつですか？

応援しています。